建二第 104 号入札参加申請者 各位

新潟市建築部公共建築第2課新潟市財務部契約課

建二第 104 号 新潟市芸術創造村・国際青少年センター屋内運動場棟屋根改修工事 工事の積算内容について(お知らせ)

令和2年9月10日公告の「建二第104号 新潟市芸術創造村・国際青少年センター屋内運動場 棟屋根改修工事」の積算について、下記のとおりお知らせいたします。

質疑については、電子入札システム上で回答済みですが、積算にあたってはご注意くださいま すよう、よろしくお願いします。

記

1. 発注図

【改修特記仕様書(1) A-01】

「3. 防水改修工事」を以下のように修正しました。

修正前

B) シーリング	改修工法の種類	施工箇所				
	・シーリング・充填工法	egiclaps and SM (French 2)				
	・シーリング再充填工法					
	・拡幅シーリング再充填工法					
	・プリッジ 工法					
	シーリング材の種類及び施工箇所	[3.7.2][表3.7.1				
	下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする					
	施 工 箇 所	ラーリンゲ材の種類(記号)				
	屋根各所取合	PS-2				
	1 100					

修正後

8 %-955	改修工法の種類	[3, 1, 4][表3, 1, 2][3, 7, 4~3, 7, 施工箇所
	・シーリング・充填工法	10000 - 1000000
	・シーリング 再充填工法	
	・拡幅シーリング再充填工法	
	· プリッシ゚工法	
	シーリンゲ材の種類及び施工箇所	[3, 7, 2] [表3, 7, 1]
	下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準と	する
	施工箇所	シーリング 材の種類 (記号)

【改修特記仕様書(4) A-04】

「7. 塗装改修工事」を以下のように修正しました。

修正前

30 塗装業者	※(社)日本塗装工業会の会	員 ○監督員の	の承諾する業者			
塗②材料	・F☆☆☆☆以外の材料を	[7. 1. 3]				
装	受けるものとする。					
汝	・屋内の壁及び天井仕上げ	が材は、防火材料は	とする。			
修③ 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲				
I	※ 塗替え面積の30%					
\$	既存鋳止め塗料の鉛含有量 下地調整	l調査 ・行う	(箇所)	・行わない		
		下地調整				
	下地面の種類	塗替え	新規	ひび割れ部の補修		
	木部	※ RB種 ・	・ RA種・ RB種	W 19		
	鉄鋼面	※ RB種 ・	RA種	20		
	亜鉛めっき面	※ RB種 ・	RA種	8 8		
	亜鉛めっき面(鋼製建具等)	※ RB種 ·	RC種	8		
	モルタル、ブラスター面	※ RB種 ・	・ RA種・ RB種	行う行わない		
	コンケリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※ RB種 ・	RA種	行う行わない		
	押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ RA種・ RB種	行う行わない		
	コンクリート面(DP)	• RB種 • RC種	RA種	行う行わない		
	せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種 ・	• RA種 • RB種	-		



修正後



	析創造村・国際青少年センター 場棟屋根改修工事	① 7 特別な材料の工法 	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の 工法による。 施工数量調査 ※ 図示・(の工法は、材料製造所の指定 [[1.5.1] 7	3 防 水	部分粘着層付改質アスファルルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による・ 平場の保護コンウリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上・ 平たんさ・A種・B種・C種・	3 方	・改修用ドルの設置 (POX工法の新規防水層X-1の場合) [3.2.5] ・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去(L4X工法の場合) [3.2.6] ・保護層 * 設ける (PIY、P2Y工法の新規防水層Y-2の場合) [3.6.3] [3.3.3][3.4.3][3.5.3][3.6.3]
仕様書		一共 方法 通	加工公里の日 * 四示 * () [1.5.2]	改		7 脱気装置	種類材料
I 共通仕様		事	調査のための破壊部分補修 ※ 図示 ・() [1.5.3]	修	窯業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し	答	* 平面部脱気型 * 製造所標準仕様(立上り型) - ステンレス製 ・アルミ製又はアルミ鋳物
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建 築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標仕」という。)によることとし、		9 技能士	 技能検定の職種 選択作	[1. 6. 2] =	エ	オートクループ・養生したもの。 金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。	r	・立上り部脱気型 * 製造所標準仕様
改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房管庁営繕部監修 公共建築工事標準仕村			とび・とび作業		事	屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量	\$	※ 種類、設置数: 製造所の指定
書(建築工事編)平成31年版」(以下「標仕」という。)による。 2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。			防水施工 ・ アスファルト防水工事作 ・ ウレタンゴム系塗膜防	I		種類 * アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置 個	8 シーリング	
(1)「契約書」を「新潟市契約規則による帳票規定(昭和41年4月1日訓令第9号)別記様式第6号の2			• 合成ゴム系シート防ァ	水工事作業		屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい	, ,,,	・ シーリング充填工法
の工事請負契約約款(以下「約款」という。)、及びその他の関連要綱」に読み替える。 (2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。			<u> </u>			位置 ※ 図示 E-1の工程3を行う部位 (* 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)		<u>・シーリング・再充填工法</u> ・拡幅シーリング・再充填工法
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。			鉄筋施工 ・鉄筋組立て作業			押え金物の材質、形状及び寸法 ※ 図示		• プリッシ゚工法
3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。 (1) 1章 1.1.2用語の定義の(7)、及び(†) (2) 1章 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)			型枠施工 型枠工事作業 石材施工 石張り作業			屋根排水溝 ※ 図示 [3.4.2、3]		>-リング 材の種類及び施工箇所 [3.7.2][表3.7.1] 下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする
(3) 1章 1.4.4材料の検査等の(1) (4) 1章 1.7.1工事検査の(1)から(3) 4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。					4 改質アスファルトシート防水	[3.1.4]~[表3.1.1][3.4.1~][3.4.3][表3.4.1~表3.4.3] 防水改修工法		施工箇所 シーリング・材の種類(記号)
	7項目の規定は週間じない。 用語の定義の(=) 1章 1.7.2 技術検査		内装仕上げ施工 - 鋼製下地工事作業			の種類 施工園所 層の種別 仕上塗料塗り		
別表(建築改修工事)			・プラスチック系床仕上・ポート゚仕上げ工事			密 ・M4AS ・AS-T1 下層用 ※ 2.5以上 ・ AS-T1の場合 上層用 ※ 3.0以上 ・ ※ カラー		
号 項	目 置き換え後の改修標仕の規定		建築板金 内外装板金作業			相 T		接着性試験 [3.7.8]
1章 各章共	通事項		<u>左官 ・左官作業</u> サッシ施工 ・ビル用サッシ施工			AS-T2 ※ 4.0以上 準機販及使用料は AS-J2 ※ 3.0以上 総差所の世根による		・行う * 簡易接着性試験 ・引張接着性試験(施工部位) * 行わない (試験成績書を監督員に提出し、承諾を得る)
(1) 1.1.2 用語の定			<u>自動ドア施工・自動ドア施工作業</u>	<u> </u>		- M3AS		175
	た者をいう。					*絶 POAS 上層用 ※3.0以上・ジルバー*AS-T4 ※4.0以上・ジルバー	9 とい	材種 * 図示 [3.8.2][表3.8.1] とい受け金物の取付け及び取付け間隔 * 図示 [表3.8.2]による
	(ナ)「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項をいう。		表装	- 1 Mer #4 16 Mile		エ • AS-J1 <u>※ 1.5以上 • </u> ※種類及び使用 法 ※2.0以上 • 料は製造所の仕		鋼管製といの防露 * 図示 ・[表3.8.3]による [表3.8.5]
	◎ 約款第32条第2項に規定する検査◎ 約款第38条第3項に規定する検査					- AS-13	10 アルミニウム製笠木	オープン形式アルミニウム製笠木の種類 [3.9.2][3,9.3][表3.9.1]
	○ 約款第48条第1項に規定する検査		<u>樹脂接着剤注入施工</u> ・樹脂接着剤注入 造園 ・造園工事作業	工事作業		断・M3ASI ・ASI-TI <u>下層用 ※ 1.5以上・</u> * # # # # # # # # # # # # # # # # # #		種類 板厚(mm) 表面処理 下地補修 * * 行う(図示)
	◎ その他 新潟市請負工事検査要綱第5条に規定する検査		プロック建築 - コンクリートプロック工事			エ POASI - ASI-J1 <u>下層用 ※ 1.5以上</u> * 種類及び使用料は		<u>・250形 1.6以上</u> ・AB(Ⅲ) ・行わない
(2) 1.4.4 材料の検	査等 (a) 現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(1) 若しくは(2) に該当する場合またはあらかじめ		<u> _ ガラス用フィルム施工</u> - ガラス用フィルム施工(、建築フィルム施工)		上層用 ※ 2.0以上 ・ 製造新の世報による 改質アスファルトシートの種類及び厚さ		- 300形 1.8以上 ・BB(Ⅲ) ・350形 2.0以上 ・AB(Ⅱ)(過酷な環境の屋外)
	監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。	10 見本施工	※実施する(・外壁塗装色・・・)・実施した	ない [1.6.5]		* [表3.4.1]から[表3.4.3]による・・		
	(1)工事完成検査時または工事写真で、JIS若しくは JASの マークを確認できる場合	①完成図等	│ │ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[1, 8, 1~1, 8, 3]		粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による		固定間隔 建築基準法に基づく指定する条件により定める 下地補修 ※ 樹脂モルタル薄塗 t=3.0
	(2) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査	J. J		N. CADデータ、PDFデータ 共)		部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ		板材折曲げ形アルミニウム製笠木の取付工法
	時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認でき る場合			1 部		※ [表3.4.1]から[表3.4.3]による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量		笠木の固定金具は[3.9.3](2)(7)とし、それ以外の取付方法は図示による。
(3)1.7.1 工事検査	66-16-1-16-2 (40-1) 14-24-16-17-18-6 (10-16-24-16-17-17-10-16-24-16-17-17-17-18-6					種類 ※ 改質アススァルトシートの製造所の指定・・	1 施工数量調査	[1.5.2]
(3) . /. 工事検査	約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形 部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとし、当					設置数量 × 改質アススフルトシートの製造所の指定 個 4 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート(設置する 設置しない)	- -	下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等を まとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。
	該請求部分に係る工事について、(1)の要件を満たすものとする。	1 監督員事務所等	- 監督員事務所 • 10 • 20 • 35 • 65 •	 ㎡程度を設ける。[2. 4. 1]		押え金物の材質、形状及び寸法 ※ 図示	下 達 切	調査範囲 外壁改修範囲 調査内容
			- 振音員争物所 10 20 33 03 - 仮設事務所の中に監督員用空間を m ² 程度確係	保する。	5 合成高分子系	[3. 1. 4] [表3. 1. 1] [3. 5. 2] [3. 5. 3] [表3. 5. 1]	(全) (全)	ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。
Ⅱ 特記仕様 1.項目は、番号	に ○印の付いたものを適用する。	仮② 監督員が使用でき	│ │ 監督員用備品として、下記のものを工事期間中、ヨ	[2.4.1] 現場に常備し、貸与する。	ルーフィング・シート防水	防水改修 施工箇所 新規防水層の種別 <u>備 考</u> コ法の種類 (厚さ (mm)) 脱気装置 改修用 パレン	其	ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの剥離・剥落など欠陥部分を
2. 特記事項は、(●印の付いたものを適用する。	設る備品等	・ 保護帽 3 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴			POS工法 S-F1(*1.2 ・) * 設ける * 設ける 3		調査する。
	ない場合は、× 印の付いたものを適用する。 の付いた場合は、共に適用する。	工 事 用 水	 構内既存の施設 ・利用できない ※ 利用で	できる (※ 有償 ・無償)		・S4S工法 - S-F2(※ 2.0 ·) 種類数量は図示 S-M1(※ 1.5 ·)	R	コンクリートの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。 仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。
	載の[]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	事 ④工事用電力	 	できる (※ 有償 ・無償)		• S-M2(* 1.5 •) • S-M3(* 1.2 •)		新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に 表示する。
	載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。	1				- S-C1 (* 1.0 ·)		
章 項 目 ① 工事実績情報の	特 記 事 項 ※ 別添特記仕様書IVによる。 [1.1.4]	⑤ 仮 設 建 物 等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあら	らかじめ監督員の承諾を受ける。		- S3S工法 S3S工法 S-F1(※1.2 ・) ※ 設ける ※ 設ける F-M2(※1.5 ・) 種類数量は図示 4	1 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm)
① 登録		⑥外部足場	○枠組足場 @くさび緊結式足場 ・その他]	* 自動式低圧球 抄樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 * 200~300
一 2 概成工期 般	* 施工条件総括表による。 [1.2.1]		「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足均 同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の			M4S工法 S-M1(※1.5) ※ 設ける S-M2(※1.5) 種類数量は図示		- 手動式は、約樹脂注入工法 ※ 図示による。 ※ 50~100
共 ③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1.1.13]		における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すりタ	も行専用足場方式により行う。		・S-M3(※1.2・) ・POSI ・SI-F1(※1.2・) ※設ける ※設ける	7 J	・機械式エボキン樹脂注入工法 ※ 図示による。 ※ 100~200
事	○地表面粗度区分 I I ① II IV	7 内部仕上足場	- 脚立足場、足場板等 - 枠組棚足場 - 移動式员	足場 [2.2.1]		- S4SI - SI-F2(* 2.0 -) 種類数量は図示	!	* 図示による。 * 150 / 2 50
項	多雪地域の指定 積雪区分 新潟市建築基準法施行細則別表第2	8 運搬方法	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種	[2. 2. 1]		野	T	注入材料 [4.2.2] ・建築補修用注入エボキシ樹脂 * JIS A6024低粘度形 * JIS A6024中粘度形
4 電気保安技術者	・要 ・不要 [1.3.3]					T - S-C1 (* 1.0 ·)	女	検査 (37抜取り) [4.3.4]
5 施工条件	施工順序 · 図示 [1.3.5]	9 養生	※ 既存部分の養生※ 既存家具・設備等の養生※ 既存家具・設備等の養生※ じュールシート等・() [2. 3. 1]		法 S3SI SI-F1(* 1. 2 ·) SI-F2(* 2. 0 ·)	- +	* 行わない ・行う (* 1個/500m毎、及びその端数につき1個 ・ 個/ m毎)
	工事用車両の駐車場所 ※ 任意 図示					• M4SI	E E	抜取り部の補修方法
	資機材の置場所 * 任意 ・図示 その他()		備品等の移動 ※ 監督員の指示による施設内移動とする。(対象備	[2.3.1] 結品の移動先は、図示による)		SI-M2(* 1.5 ·) - S-M3(* 1.2 ·)	プ 	※ 充填工法(※ エボキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル) [4.3.7] - Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
6 発生材の処理等	[1.3.12] 引渡しを要する発生材 保管場所	1	- 行わない			・S-M2の場合で立上がりが、接着工法の場合 立上がり面のシート厚さ(・ * 1.5mm)	達	
0 光王州の処理寺	- 金属類 - 金属類	1	│ │ ※ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある均	場合は養生を行う。また、損傷		立上がり面のシート厚さ (************************************	女	- プーシグ 44
	<u>• PCB含有物</u>	-	等を与えた場合は、受注者の責任において速やが	nに修復等の処置を行う。		室内保護密着工法保護層が床塗りの場合の床の目地 目地割り (*2㎡程度 最大目地間隔 3m程度 ・)	Ē	★゙リウレタン系シーリング材 ☆ 行う ・行わない
		③① 防水の保証等	防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工の	の場合、防水施工業者、受注者		日地の種類(※押し日地)	4	・ シール工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 6]
	特別産業廃棄物 <u>処理方法</u> ・吹付石綿 ※ 最終処分	防	新潟県防水工事業協同組合との3者連名の保証書を 新潟県防水工事業協同組合員以外の施工で、監督員			I-74ングシートの種類及び厚さ *:[3.5.1]から[表3.5.3]による 絶縁用シートの材質 * 発泡ポリエチレンシート		シール材料 ・パテ状エボキシ樹脂 ・可とう性エボキシ樹脂
	• 石綿含有吹付ロックウール ※ 最終処分	水	業者、受注者、製造所との3者連名の保証書を提出			固定金具の材質及び寸法形状		[4.3.6](2)(ウ)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等で
	<u>・石綿含有吹付パーシキュライト ** 最終処分</u> ・石綿含有吹付パーライト ** 最終処分	改②降雨等に対する養生	*[3.1.3](5)(ア)~(ウ)による。	[3. 1. 3]		※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは 両面に樹種を積層加工した鋼板		クラックに挿し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。
	• 石綿含保湿材 * 最終処分	修 方法(とい共)	•			脱気装置の種類及び設置数量	2 欠損部改修工法	※ 充填工法
	<u>・石綿含有断熱材</u> ※ 最終処分	エ 3 アスファルト防水	[3.1.4][表3.1.1][3.1.1] _防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水][3.3.3][表3.3.3~表3.3.10] :工法の種別 仕上塗料塗り		種類 * ルーフィング・シートの製造所の仕様による 設置数量 * ルーフィング・シートの製造所の仕様による 個		だ。根が料 ・ ボーキシ樹脂モルタル・ボーリマーセメントモルタル
	- 丁亨珀坦にセンブ面利用なが不及流ルナ网フェク マール・フ	P	保 • P1B • B-1 • B	3-2 • B-3		プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別 S-F1、SI-F1の場合)		ポリマーセメントモルタルの塗り厚が20mmを超える場合、または現状成形が
	・工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ※ 図示による・ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理		防 P2AI -AI-1 -A	3 I - 2 · BI - 3 A I - 2 · AI - 3		行う(図示) 行わない (機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け		不可能な場合は監督員と協議すること。 ・充填工法以外とする場合は図示による。
	* 管理型最終処分場・製造業者に委託・石綿含有せっこうボード以外のせっこうボード		** P2A	A-2 A-3 2 C-3 C-4 * ħラ-		建築基準法に基づき定める風圧力の計算書を監督員に提出すること 4	-31 既存モルタル塗りの徹去	・行う(* 図示の範囲 ・全面)
	⊕ 最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。		出 - M3D - POD - D-1 - D-2	2 D-3 D-4 SMA'-	6 塗膜防水		E 2 ひび割れ部改修工法	- 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]
	 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認のうえ、 適切に分別した後、再資源化施設で再資源化する。		75K - PODI - M3DI - DI -1 - D - M4DI) I -2 ※種類及び使用 料は製造所の仕		労働基準衛生施行令別表第三に掲げる特定化学物質TDI及びMOCA を重量の1%を超えて含有するウレタン系塗膜防水材は使用不可とする。	<u> </u>	<u>注入工法の種類</u> <u>ひび割れ幅(mm)</u> <u>注入口間隔(mm)</u> * 自動式低圧球* 約樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 * 200~300
	• (様による		防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上塗料塗り	<u></u>	
	・特別産業廃棄物の分析調査 ・要 ※ 不要 ・ PCB含有シーリング 材の処理 分析調査 ・ 要 ・ 不要		屋内 P1E - P2E	-2 要 · 不要		• POX × X-1	ń.	・手動式は、シ付脂注入工法 <u>※ 図示による。 </u>
	撤去 ・要 ・不要		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による			- P1Y ※ Y-2 # 種類及び使用料は - P2Y ※ Y-2 製造新の仕様による		※ 図示による。 ※ 150~250
	1	•	※ 以廖原子正体首次5.3.30かり表3.3.31による			工事名	- 1	図名 改修特記仕様書(1)
				新潟市建	築部公共建築	第 2 課 新潟市芸術創造村・国際青少	7年センター	年月日 縮 尺 図面番号
				<u> </u>		屋內運動場棟屋根改修工事		2020. 07 A-01

